



平成30年度 視覚障がい者向けパソコン講座終了しました

8月17日～10月25日まで、全12回松阪市障害者福祉センター主催の「視覚障がい者向けパソコン講座」が開催されました。今回はEXCELでの家計簿作成でした。通常マウスを使用しますが全てキーボードで行うため、書式設定など普段使用している命令などの呼び出しに戸惑いながらの講師補佐でした。ショートキーなど普段使っていないキーを覚えることができラッキーでした。

CTF 松阪からはサブ講師として多数の方々にご協力いただきありがとうございます。次回もよろしくお願ひします。

平成30年度 作って楽しむパソコン講座始まりました

10月、11月と「作って楽しむパソコン講座」が始まりました。今月は「Word 飾り文字作成」です。普段飾り文字を使っていないのですが、これを使うことで表現力が倍増します。CTF 松阪作成のテキストが用意されていますのでテキストご希望の方はお知らせください。

次号で作品を紹介するのでご期待ください。



愛郷無限

今年の度重なる台風で、25年前から育てていた鹿児島紅梅が2本倒れてしまいました。「ひな祭り」の期間中満開で、来る人の目を楽しませてくれていただけに残念です。

台風の被害は甚大で、5年前に植えた花桃も倒れ藤棚も壊滅状態で、今のところ復旧の目途はたっていません。

私が今小学校5年の時、伊勢湾台風で橋が流され、渡し舟で学校へ通ったことを思い出しました。その中には先輩がいて後輩もいて、助け合いながらの通学は楽しかったことを覚えています。家に帰れば家族がいて、親父の膝の上は暖かかったことを思い出しました。当時、貧しかったがつらいとか苦しいとか思ったことは、一度もありませんでした。

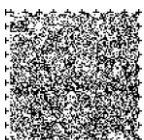
これが、私の原点。

これから地道にコツコツと復旧して行く。

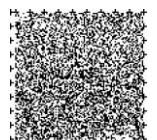


感謝の丘・ほたる窯

代表 三田 守



今月号は文字数が多いので、第1ページ、第3ページ、第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページ、第3ページ、第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



パソコンの動作が遅くなったときの対処方法

コンピュータの動きが遅いと、文書や画像を開くのに時間がかかってしまったり、作業途中でソフトが動かなくなったり、さらにはコンピュータを再起動をしなければならないこともあります。このような悲劇が起きないように、定期的にコンピュータの中身を整理整頓して、コンピュータのパフォーマンスを改善させましょう。

■文書の整理

[マイドキュメント]のフォルダなどに保存されている古くなった文書を削除します。またファイルを保管するためのフォルダを作成し文書の内容ごとにファイルを作成します。



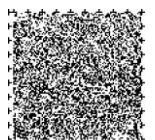
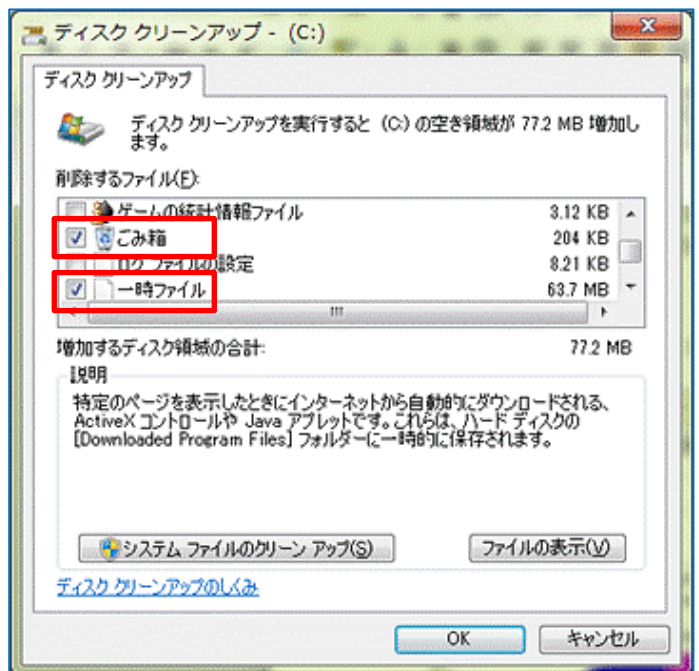
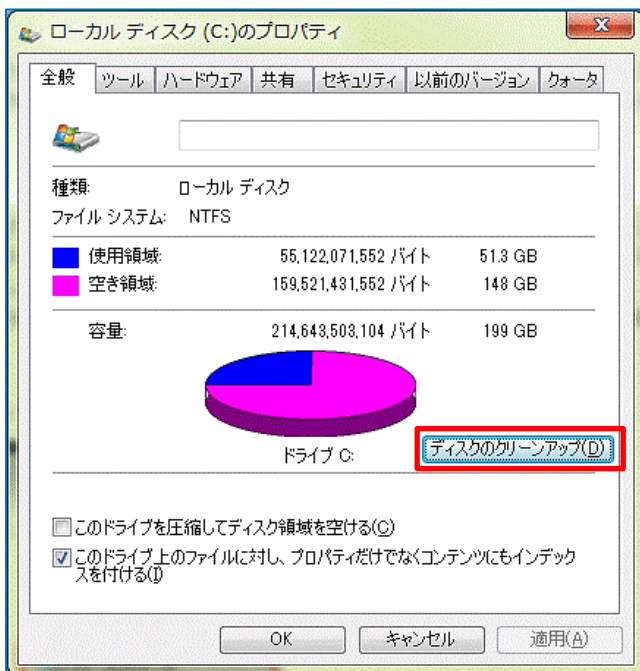
■一時ファイルの削除

コンピュータで文書作成をしたり Web 閲覧をしていると、一時的にその情報が保存されます。このファイルを「一時ファイル」といい、知らない間にコンピュータ上に自動保存されています。これらのファイルは不要な情報なので削除します。

一時ファイルなどを削除する方法は、以下の方法で行います。

(1) 「ディスクのプロパティ」から「ディスクのクリーンアップ」をクリックする

(2) 「ディスクのクリーンアップ」で [一時ファイル] と [ごみ箱] のボックスにチェックをつけて [OK] をクリックする





活動報告

【10月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(2日、9日、16日、23日)

難病患者さんへの意思伝達支援

(3日、11日、30日)

作って楽しむパソコン講座（飾り文字作成）

(15日、22日、29日)



活動予定

【11月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

6日、13日、20日、27日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30

作って楽しむパソコン講座（年賀状作り）

5日、12日、19日

徒然なるままに

お伊勢さん 125社というのをご存じじゃるか？

前号では、「瀧原宮（たきはらのみや）」を紹介したが、そこから国道42号線を17kmほど南下して、頭之宮四方神社（こうべのみや よもうじんじゃ、度会郡大紀町大内山3314番地2）へ寄って見たのじゃ。

この神社は「**頭の神様**」と言われており、日本で唯一、「あたまの宮」を意味する「頭之宮」と名付けられた神社で、古くから「あたまの宮さん」として親しまれ、全国から志望校合格や試験合格、頭の病気やケガ・心の病のこと、創造性やヒラメキを求めて多くの方々が参拝に来るそうじゃ。

「四方」とは東西南北の四つの方向を指し、四方八方まで隈なく御神徳が広がることを意味しておる。

遠い昔、唐子川の上流、険しい岩がそびえる山の上に、ご祭神・唐橋中将光盛卿（からはしちゅうじょう みつもりきょう）が住んでいた。その場所は名前にちなみ「中将倉」と呼ばれておる。その亡き後、いつしか時は流れ、ある日の事、唐子川で遊んでいた子ども達が1つの髑髏（ドクロ）を見つけた。土葬が当たり前だった当時、髑髏は日常から遠いものではなかった。無邪気な子ども達は髑髏を川面に浮かべ、恐れもなく遊んでいたのじゃが、通りがかった老人が「不浄なり」と髑髏を捨てさせてしまった。

ところが、この髑髏こそ唐橋中将光盛卿その人だったのじゃ。通りがかった老人は突如神がかりとなり、村人にこう話し始めた。「私は唐橋中将光盛である。子ども達と楽しく遊んでいたのに、髑髏を不浄と言って捨てさせるとは何事か」と。村人が恐れ見守っている中、老人はこう続けた、「私の髑髏をこの地に祀るならば、万民に幸福を与え、永く守護する」。村人はこのご神託を恐れ敬い、神託のままに神殿を造営して髑髏をお祀りしたのじゃ。その地こそ現在の頭之宮四方神社の鎮座地である。この由来から、日本で唯一の「頭之宮」と名乗る神社となった。鎮座は建久二年（1191年）と伝えられておる。

「頭之水（こうべのみず）」は、飲めば内から厄祓い、身体につければ外から祓い清めてくれるという霊水じゃ。

神社脇を流れる溪流を「唐子川」と呼ぶが、御祭神・唐橋の「唐」と子供達の『子』から名付けられたと伝えられておる。唐子川は今でも清らかに流れ、ホタルが飛び交いカシカが鳴く自然を保っておるぞ。



蛙の口から湧く、頭之水

今月は、パソコン講座の講師や訪問サポートなどで活躍いただいています T. S 参様からご投稿いただきました。



京都大覚寺

今年は、台風が多く発生する年のようです。

先日京都に行く機会があり大覚寺を訪問した。大覚寺は初めてでさっぱり様子はわからない。まずは大覚寺大沢池畔の望雲亭に案内された。抹茶をいただきその後寺内を僧侶の案内で見学できた。

先ず目についたのは今回の台風の被害です。境内の古木が多く被害を受けていたそれも捩じり千切られていた。

大覚寺は弘法大使空海を宗祖と仰ぐ真言宗大覚寺派の本山。正式には旧嵯峨御所大覚寺門跡と称し、嵯峨御所とも呼ばれる。平安初期、嵯峨天皇が檀林皇后との成婚の新室である離宮を建立されたが、これが大覚寺の前身・離宮嵯峨院である。嵯峨院が大覚寺となったのは、皇孫である恒寂入道親王を開山として開創した貞観 18 年 (876 年) である。

弘法大師空海のすすめにより嵯峨天皇が浄書された般若心経が勅封 (60 年に一度の開封) として奉安され、般若心経写経の根本道場として知られている。明治時代初頭まで、代々天皇もしくは皇統の方が門跡 (住職) を務めた格式高い門跡寺院である。いけばな発祥の花の寺でもあり、「いけばな嵯峨御流」の総司所 (家元) でもある。

時代劇・各種ドラマのロケ地としても有名である。



編集後記



運動会シーズン到来ですが、あいにくの天候続きで役員さんは大変だと思います。綱引きやら大玉転がしなどに駆り出され久々に運動しましたので全身筋肉痛がなかなか治らないです。

日頃の運動不足もあり、気持ちと体がかけ離れているようでまったく体が動かないです。昔はもっと動いたと思うのですがね。

運動した後は反省会という飲み会です。こちらは絶好調です。



CTF 通信第 188 号

2018 年 (平成 30 年) 11 月発行

発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人

CTF 松阪

発行責任者 山 田 則 男

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

